

部課名	道路部道路政策課
使命	○市民が暮らしやすい都市の実現を目指して、良好な道路等の都市基盤を形成します。 ○総務機能・調整機能を発揮し、部の使命達成に貢献します。

実行計画(年度目標)

順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	インフラ長寿命化計画の策定(擁壁)	個別 計画	インフラ長寿命化計画(擁壁)の策定に向け、町田地区(全5地区中4地区目)の道路資産調査(擁壁)を実施します。	道路資産調査の実施	町田地区完了	○	実施に向け、情報収集を行い、町田市道と関連する調査箇所について整理を行いました。	机上調査、現場調査を実施し、町田地区の擁壁について台帳等を作成します。	・インフラ長寿命化計画の策定に必要な町田地区(全5地区中4地区目)の道路資産調査(擁壁)を完了し、擁壁について台帳を作成しました。	・町田地区における道路資産調査の完了	C	・予定した調査を実施し、目標を達成することができました。	・既調査資料を活用し、残り1地区(南地区)についても、効率的な調査を実施していきます。
2	駅周辺施設の整備	重点 事業 プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・(南町田駅)引き続き南北自由通路整備工事を行います。 ・(鶴川駅)引き続き鉄道事業者と協議を進め、自由通路の基本設計を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(南町田駅)上部工架設橋桁設置工事の実施 ※修正理由:わかりやすい表現に変更しました。 ・(鶴川駅)基本設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・完了 ・完了 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・(南町田駅)引き続き南北自由通路整備工事を進めました。 ・(鶴川駅)鉄道事業者と基本設計の協議を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(南町田駅)橋桁設置工事を完了します。 ・(鶴川駅)基本設計に着手します。 	<ul style="list-style-type: none"> (南町田駅) <ul style="list-style-type: none"> ・橋桁設置工事を完了しました。 ・北口駅前広場の屋根の設置範囲について、鉄道事業者と協議を行いました。 (鶴川駅) <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計に先立ち、将来の駅のあり方について利用者の意見を伺うため鶴川駅アイデアコンテストを追加して実施しました。 ・アイデアコンテストの結果を反映させるために、基本設計の着手を1月に変更しました。 	<ul style="list-style-type: none"> (南町田駅) <ul style="list-style-type: none"> ・橋桁設置工事の完了 ・屋根設置に伴う協議の完了 (鶴川駅) <ul style="list-style-type: none"> ・鶴川駅アイデアコンテストの実施 ・基本設計の着手 	C	<ul style="list-style-type: none"> (南町田駅) <ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり橋桁設置工事が完了しました。 ・鉄道事業者と協議し、屋根の設置範囲を決定しました。 (鶴川駅) <ul style="list-style-type: none"> 基本設計は完了しませんが、鶴川駅アイデアコンテストを実施したことにより、将来の駅や駅周辺施設のあり方について利用者の意見を基本設計に反映させることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(南町田駅)整備後の維持管理に向け調整を行います。 ・(鶴川駅)引き続き基本設計を進め、整備着手に向け調整を行います。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	無電柱化の推進	個別 計画	災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化対象路線(チャレンジ路線)の基礎調査を進めます。	基礎調査の実施	完了	○	<ul style="list-style-type: none"> 町田623号線の基礎調査の準備を進めました。 更なる都補助制度の活用のため、無電柱化推進計画策定について、東京都と協議を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 町田623号線の基礎調査を実施します。 無電柱化推進計画策定のため基礎調査に着手します。 	<ul style="list-style-type: none"> 町田623号線の基礎調査を行いました。 当初予定していなかった無電柱化推進計画について、東京都の補助制度を活用して、基礎調査を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 町田623号線の基礎調査の完了 無電柱化推進計画の基礎調査の完了 	B	<ul style="list-style-type: none"> 町田623号線の予定した基礎調査を実施し目標を達成することができました。更に、無電柱化推進計画の基礎調査を追加して実施することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都の補助制度に沿うよう、調整が必要です。
4	都市計画道路ネットワークの在り方検討	—	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 計画内容再検討路線と位置付けた都市計画道路(町3・3・7及び町3・4・27)について、道路ネットワークの在り方などについて検討を行います。 (在り方検討) 優先整備路線等に位置付けていない未整備の都市計画道路について、東京都とともにその在り方を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 計画内容再検討路線の都市計画変更 (在り方検討) 「(仮称)在り方方針」「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 事前協議の完了 ※修正理由:再検討路線4路線の隣接市協議、変更理由等の整理に時間を要することが判明しました。 完了 	○	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 再検討路線の隣接市協議・調整に当初予定より時間を要することが判明しました。 (在り方検討) 東京都と特別区及び26市2町と連携し、「基本方針」の中間まとめを公開しました。また、都市計画審議会に報告しました。 	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 引き続き、関係機関との協議・調整を行います。 (在り方検討) 「基本方針」を策定します。 	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 都市計画変更をするため、関係機関と事前協議を完了しました。 (在り方検討) 「基本方針」策定に向けて、関係機関と協議・調整をしました。東京都と特別区及び26市2町との協議進捗により、基本方針の策定期間が延期となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 関係機関と事前協議を完了しました。 (在り方検討) 中間まとめを策定し、都市計画審議会へ報告しました。 町田市域の協議・調整は完了しました。 	C	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 課題を整理して、都市計画変更に向けた協議等を進めました。 (在り方検討) 基本方針策定期間は延期となりましたが、町田市域の協議・調整を完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> (再検討路線) 都や隣接市との調整に時間を要するため、適切な進捗管理が必要です。 (在り方検討) 基本方針の策定の周知を進める必要があります。
5	業務の効率化	—	2016年度に実施した業務量算出と2017年度に試行した業務の効率化手順を元に道路部において業務の効率化を図ります。	効率化業務数	5業務	○	2016年度に実施した業務量算出結果を更新しました。また、効率化すべき業務の抽出を行いました。	抽出した業務について、効率化を実施します。	街路灯の球切れ交換の要望対応の見直しなど、抽出した5つの業務について、部内横断的に検討を行い、業務の効率化を実施しました。	5業務	C	<ul style="list-style-type: none"> 予定した業務数の業務効率化を行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化を部内各課に意識付けるため、仕組みづくりを行っていく必要があります。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	経営品質向上を目指した道路部内研修の実施	—	道路部職員として必要な能力の向上を目的として研修等を開催します。	研修回数	8回	◎	道路部職員を対象とした研修(マネジメント、効率的な現場報告の仕方、災害対策など)を7回実施しました。	引き続き経営品質向上を目指した研修を実施します。	12回研修を実施しました。特に、防災対策として、図上訓練(地震対応)や無線研修に力をいれ、多くの職員が参加しました。	12回	B	目標値を上回る12回、研修を実施することができました。特に、防災対策に力をいれたことで、10月の台風の際に今までよりも各課連携して動くことができました。	引き続き、道路部職員として必要な能力の向上を目指して研修等を開催します。

部課名		道路部道路整備課											
使命		道路等の整備を効果的・効率的に行い、快適で安全な道路環境を提供することで、道路を利用するすべての人が移動しやすいまちをつくれます。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	都市計画道路3・4・34号線(金森)の整備	重点 事業 プラン	都市計画道路3・4・34号線(金森)の築造工事を実施します。工事期間中に誰もが安全に移動出来るよう、歩行者通路を確保します。	工事の実施	年度末の道路開通	○	道路築造工事に着手しました。	目標達成に向け、進捗管理を行い、年度末に道路を開通します。	東京都、交通管理者、占有企業者と調整を図り、道路築造工事を完了しました。また交通管理者との調整により2月に信号機を点灯することができ、早期に道路を開放しました。	・道路築造工事の完了 ・2月中に道路を開放	B	道路築造工事の工程を工夫したことにより、予定より早期に道路を開放することができました。	道路台帳を作成し、道路を供用開始させます。
2	都市計画道路3・4・38号線(木曾東)の整備	重点 事業 プラン	都市計画道路3・4・38号線(木曾東)の電線共同溝の整備に向けて、電力や通信線を各家庭へ引込む管路の整備を実施します。	引込管路等工事の実施	完了	○	引込管路等工事委託の協定を締結しました。引込管路等工事に着手しました。	引込管路等の整備工事を完了します。	引込管路等工事委託の協定を締結し、引込管路等の整備工事を完了しました。	引込管路等整備工事の完了	C	工程通り引込管路等工事を完了し、目標を達成することができました。	2019年度の道路築造工事により、事業を完了させます。
3	都市計画道路3・4・34号線(南大谷) 都市計画道路3・4・9号線(成瀬)の整備	重点 事業 プラン	都市計画道路3・4・34号線(南大谷)を鉄道と立体的に交差させる工法の検討を進めます。	軌道敷交差工法の検討	完了	○	軌道敷交差工法の検討を実施しています。	軌道敷交差工法の検討を行います。	鉄道事業者と予備設計業務に関する協定を締結し、軌道敷交差工法の検討を行いました。さらに鉄道事業者と調整を図り、最適な工法を決定しました。	軌道敷交差の最適工法の決定	B	軌道敷交差工法の検討を行いました。更に、2019年度に予定していた工法の決定を2018年度内に前倒して行うことができました。	事業の早期着手に向けた進捗管理を行います。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	都市計画道路3・3・7号線(成瀬) 都市計画道路3・4・11号線(原町田) 都市計画道路3・4・22号線(小野路)の整備	重点 事業 プラン	都市計画道路3・3・7号線(成瀬) 都市計画道路3・4・11号線(原町田) 都市計画道路3・4・22号線(小野路)の整備を進めます。	予備設計、調査測量の実施	完了	○	予備設計、調査測量に着手しました。	目標達成に向け、進捗管理を行い、予備設計及び調査測量を完了します。	【都計道3・3・7】 ・東京都と事業範囲について協議を進めました。交通管理者との協議に向けた設計検討を行いました。 【都計道3・4・11】 ・東京都と事業範囲について協議を進めました。予備設計で道路の幅員構成について検討を行いました。また庁内検討会を開催し、関係各課の計画の整合性を図りました。 【都計道3・4・22】 ・東京都と事業範囲について協議を進めました。予備設計及び調査測量を完了させ、交通管理者との協議に向けた設計検討を行いました。	【都計道3・3・7】 ・予備設計完了 【都計道3・4・11】 ・予備設計完了 【都計道3・4・22】 ・予備設計完了 ・調査測量完了	C	3路線の予備設計と1路線の調査測量を完了し、目標を達成することができました。	3路線ともに事業スケジュールに影響が生じないよう進捗管理を行います。
5	忠生630号線の整備	重点 事業 プラン	忠生630号線の整備を進めます。	詳細設計、調査測量の実施	完了	○	調査測量、環境調査に着手しました。	目標達成に向け、進捗管理を行い、詳細設計及び調査測量を完了します。	・詳細設計及び調査測量を完了し、工事発注のための資料、用地取得のための資料を作成しました。 ・2019年度工事予定箇所の土地を取得しました。 ・交通管理者との設計協議を完了しました。	・詳細設計完了 ・調査測量完了 ・翌年度工事着手部の土地売買契約の完了 ・交通管理者との協議完了 ・工事発注準備の完了	B	工事の発注準備を2018年度内に前倒して完了させることにより、2019年度の工事の早期着手が可能となりました。	事業の早期着手に向けた進捗管理を行います。
6	忠生579号線の整備	重点 事業 プラン	忠生579号線の整備検討を進めます。	用地測量の実施	完了	○	用地測量の実施に向けて検討を実施しました。	目標達成に向け、進捗管理を行い、用地測量を完了します。	・関係者等との調整を行いました。用地測量の完了には至りませんでした。 ・交通管理者との設計協議を完了しました。 ・東京都自然保護条例に基づき、東京都環境局との協議を進めました。	交通管理者との協議完了	C	・用地測量の完了には至りませんでした。交通管理者との設計協議を完了させるとともに、東京都環境局との協議を進めました。	引き続き用地測量の実施に向けて、事業協力が得られるよう努めるとともに、関係機関との協議を進めていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
7	未利用地(普通財産) の有効活用	—	未利用地(普通財産)の売却など、 新たな財源確保に努めます。	未利用地の有 効活用数	1筆	○	売却地の選定と地 目変更を実施しま した。	売却に向けて、関 係部署との調整を 行います。	予定していた1筆の契 約を締結し、売払いを 行いました。さらに、も う2筆の契約を締結す ることが出来ました。	3筆活用完 了	B	計画を大きく 上回る3筆を活 用することがで き、目標以上 の成果を達成 しました。	今後も未利用 地の有効活用 により、新たな 財源確保と管 理費抑制に努 めます。
8	業務の効率化	—	課内業務のFAQを作成すること で、職員の対応能力を向上させ、 業務の効率化を図ります。	FAQの作成	作成完了	○	FAQ案の作成及 び中間確認を実 施しました。	作成したFAQ案を 試用し、課題を抽 出して、FAQの作 成を完了させま す。	上半期に案を作成し、 中間確認を実施しま した。その後試用期間を 経て、改良を加えて、 活用できる環境を整え ました。	FAQの完 成、活用	C	計画通りFAQ を作成し、活 用することによ り、職員の対 応能力の底上 げを図りまし た。	活用率を高 め、都度修正 を加えていく ことで、より一層 の職員の対応 能力向上を目 指します。

部課名		道路部道路管理課											
使命		すべての人が、道路を安全で安心して快適に利用できるよう、適切に管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	違反広告物パトロールの継続実施	—	道路の景観を保つため、違反広告物パトロールを月1回継続して実施します。	パトロール回数	1回/月	○	毎月末の月曜日にパトロールを実施しました。	下半期も引き続き実施します。	月1回のパトロールを確実に行うことができました。	1回/月	C	目標値である月1回のパトロールを行うことができました。	違反広告物がゲリラ的に設置されてしまうため、違反広告物パトロール以外の外出時に発見した場合には、随時撤去を行い、違反件数を減らしていきます。
2	道路愛護運動「みちピカ町田」の推進	—	広報紙、リーフレット配布等により、「みちピカ町田」の活動を広めていきます。 ※「みちピカ町田」は「誰もが安全で快適に道路を利用できること」を目指して、一人一人の手で道路をより良くしていこうと活動する道路愛護運動です。	PR活動回数	3回	○	道路ふれあい月間(8月)に広報まちだへ掲載して、市民へのPRを行いました。	道路マナー啓発チラシ・ポスターの配布(小学4年生及び中学1年生)や市民生活連絡会でのPRを行います。	広報まちだへの掲載、市内小中学校へチラシ・ポスターの配布(チラシ4,092部、ポスター138部)、市民生活連絡会でのPRを行い、幅広い世代に呼びかけました。	3回/年	C	目標値である3回/年のPRを行うことができました。	新たにPR活動ができる場所を探すため、関連部署が行っているイベント等の情報収集を行います。
3	放置自転車がよくある特定箇所に対する放置自転車の撤去活動の強化	—	放置自転車がよくある特定箇所に対する放置自転車の撤去活動の強化を実施し、市民への浸透を図ります。	実施箇所実施回数	3箇所・週1回	○	放置自転車がよい町田駅周辺の3箇所について、週一回以上、撤去活動を実施しました。	上半期に実施した町田駅周辺の3箇所以外についても調査し、放置自転車の撤去活動を進めます。	町田駅周辺等6箇所について撤去を強化しました。 ※町田駅周辺4箇所、成瀬駅、鶴川駅	6箇所・週1回	B	上半期は町田駅周辺3箇所を実施しました。撤去台数が一定の効果が見られたため、下半期はさらに3箇所を追加し、計6箇所に対して撤去を強化しました。	引き続き放置自転車がよい、買い物客が増加する15時以降の時間帯や休日についても、対策を行っていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	道路に関する要望対応能力の向上	—	多岐にわたる道路に関する要望について、過去の事例を基に、法的根拠や手法についてベテラン職員の経験談を通して事例研究会を行い、対応能力の向上及び対応の平準化、効率化を図ります。	事例研究会の開催回数	4回	○	事例研究会を2回開催しました。懸案事例について、ベテラン職員から解決に向けての助言などを参考として対応の平準化や事務効率の向上を図りました。	引き続き事例研究会を開催し、職員の能力向上を図ります。	年4回事例研究会を開催し、ベテラン職員の助言や法律相談、関係部署との協議結果等を共有しました。要望完了に至る、対応能力の向上及び対応の平準化、効率化を図りました。	4回/年	C	目標値である年4回の事例研究会を行うことができました。	要望は個々に内容が異なるため、事前に正解を示すことはできません。事例研究を継続し対応能力の底上げを図ります。
5	放置自転車対策・自転車駐車場整備事業について対応策を研究	—	放置自転車対策・自転車駐車場整備事業について対応策を研究します。	研究結果レポート作成	研究結果レポート作成	○	駐輪場シェアサービスの研究をしました。 ※駐輪場シェアサービスとは、駐輪場の空き情報を共有できるサービスのことです。	引き続き放置自転車対策・自転車駐車場整備事業の研究を進めます。	放置自転車対策・自転車駐車場整備事業として駐輪場シェアサービスとシェアサイクルを研究し、シェアサイクルについては2019年度から社会実験を実施することが決定しました。	研究レポート作成/シェアサイクル社会実験実施	B	上半期は、駐輪場シェアサービスのレポートを作成しました。下半期は更に、シェアサイクル事業者と調整を重ね、官民共同で2019年度からシェアサイクルの社会実験を実施することが決定しました。	社会実験を開始するシェアサイクルの周知活動を行うとともに、引き続き放置自転車対策・自転車駐車場整備事業の研究を進めます。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	道路通報アプリの周知 啓発	—	2018年4月から導入した道路通報 アプリについて多方面に周知活動 を展開し、広く活用を図ります。	広告媒体数	4種類	◎	広報・HPの他に横 断幕、リーフレッ ト、ポスター、マグ ネット、まちテレに よる周知活動を展 開しました。	引続き様々な媒体 を利用して周知活 動を進めます。	広報・HPの他に横断 幕、リーフレット、ポス ター、マグネット、まち テレ、市民バス車内広 告、啓発用ポケット ティッシュの配布を実 施しました。	6種類	B	目標値を上回 る6種類の広 報媒体で周知 しました。 道路の不具合 通報以外に も、より多く の方に利用し ていただけるよ うに、公園や街 区表示板の不 具合通報、生 きもの発見レ ポートを受付 けることが出来 るようにアプリ の改善を行 いました。また、 「通報が届い ているか不安 である」とい うご指摘をいた だいていたた め、受信完了 をお伝えする 自動返信機能 も追加しまし た。	通報アプリの 利用者を増や すため、引き 続き広報活動 を行います。

部課名		道路部道路管理課許認可・用地管理担当											
使命		すべての人が、道路を安全で安心して快適に利用できるよう、適切に管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	財産処理に関する業務のうち、標準的な処理にかかる期間を設定すべきものの抽出と、期間の設定	—	財産系の業務から主要となる業務の選定を行い、標準的な処理にかかる期間の定義を定めます。その定義に基づき、過去の業務処理データを収集、検証し、期間を設定します。	期間の設定	設定の完了	○	標準的な処理期間を狭あい事業の申請から立会業務完了までと定義しました。期間の定義に基づき過去3年のデータを抽出しました。	過去3年のデータ抽出結果に基づき標準的な処理期間として適切かを検証します。	標準的な処理期間を狭あい事業の申請から立会業務完了までと定義しました。次に、期間の定義に基づいて過去3年のデータを抽出・検証した結果、標準処理期間を150日に設定しました。	設定の完了	C	標準処理期間の定義づけ及びデータ収集・検証のうえ、期間の設定を完了させました。	今後、設定した期間内での処理を目標にして、業務に取り組んでいきます。
2	「道路台帳作成の手引き」の更新及び「図面チェック項目」の作成	—	道路台帳作成の現状との相違を抽出し、他市の作成方法の資料収集、検証を行い、手引きの更新をします。図面のチェック項目を作成し、手引きの統一化をします。手引きを関係機関等に周知します。	手引きの更新	更新の完了	○	他市の作成方法の資料収集を行いました。道路台帳作成の手引きの素案の作成と図面チェック項目の洗い出しをしました。	道路台帳作成の手引き、図面チェック項目の検証を行い、作成します。	道路台帳作成の手引きを関係機関と調整を行い、更新しました。また、2019年度ホームページに公開します。図面チェック項目の作成が完了し、統一化をしました。	更新及び作成の完了	C	道路台帳作成のデータ収集及び検証のうえ、更新が完了しました。図面チェック項目の作成が完了しました。	今後、更新した道路台帳作成の手引き及び作成した図面チェック項目を活用し、業務に取り組んでいきます。
3	「道路掘削復旧工事施工基準」の更新	—	道路復旧工事を行う人に適切に指導するため、「道路掘削復旧工事施工基準」を更新します。	改訂案の作成	作成の完了	○	他市の基準の調査を行いました。また、改訂すべき箇所を選定、改定案の検討を行いました。	関係機関等との調整、改訂箇所の検証を行い改定案を作成します。	他市の基準の調査、改訂箇所の検証を行い、改定案を作成しました。また改定する箇所について関係機関と調整を行いました。	改定案の作成	C	工程どおり、他市の基準調査、関係機関との調整を行い、改定案を作成しました。	「道路掘削復旧工事施工基準」を改訂するにあたり、現況調査、舗装構造が不明な箇所について竣工図等の調査をする必要があります。
4	道路占用料徴収率100%の維持	—	道路を適切に管理するための財源を確保するため、道路占用料徴収率100%を維持します。	徴収率	100%	○	適時、徴収状況の確認を行い、徴収を進めています。	徴収率100%になるよう徴収を行います。	占用料の納付状況を確認しつつ、未納者に対しては催促を行い、徴収率100%を維持しました。	100%	C	目標を達成しました。未納とならないよう納付状況について月ごとに確認しました。	道路を不法占用している物件があるため、行政指導しました。

部課名	道路部道路維持課
使命	迅速かつ確実な維持補修作業をすることにより、道路等を常時良好な状態に保ち、利用者に対して安全かつ安心で快適に通行できる環境を提供します。 災害時等に、迅速に道路等の復旧を図り、市民生活を維持できるよう努めます。

実行計画(年度目標)

順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認		年度末評価		
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	LED街路灯への更新	行政 経営 改革 プラン	更新計画に基づき、事業者との契約締結、街路灯調査を行います。	2018年度分の調査の実施	完了	○	12月の契約締結に向け、公募型プロポーザル方式にて、参加事業者を募集し、選定を進めています。	契約を締結し、既存街路灯の調査を行います。	同時期にLED化を検討していた公園緑地課と協議を行い、12月13日に公園灯の更新も一括して15年間の賃貸借契約を締結しました。また、更新へ向け既存街路灯の2018年度予定分の調査を行いました。	契約締結の完了 既存街路灯調査の完了(1/2)	B	公園灯のLED化と併せて一括契約することにより、契約事務の効率化、事業費の削減を図ることができました。15年間の賃貸借契約を締結し、故障の受付や維持管理業務を事業者が行うこととしたため、経費を削減する見込みを立てられました。	2019年度の調査・工事の進捗を適切に管理することにより、更新計画を予定通りに進めます。
2	橋梁の計画的補修	個別 計画	・原町田自由通路の補修のための実施設計を行います。 ・成瀬4号橋、南つくし野6号橋、鞍掛橋の補修のための実施設計と補修を行います。	・実施設計の作成 ・補修実施橋梁数	・実施設計の完了 ・3橋	○	・原町田自由通路の実実施設計を行う業者が決定しました。 ・点検結果を踏まえ、補修工法の検討を行います。	・実施設計を完了します。 ・対象橋梁の補修を完了します。	・原町田自由通路の補修のための実施設計が完了しました。 ・再点検の結果、最優先で補修すべきと判断した成瀬4号橋、桜台橋、鞍掛橋の補修が完了しました。	・実施設計の完了 ・3橋	C	・工期内に設計が完了しました。 ・3橋の補修が完了しました。	・実施設計を基に鉄道事業者と調整を行い、施工時期を決定します。 ・優先度に応じた適切な補修を行います。
3	ペDESTリアンデッキ下の環境改善	未来 づくり プロ ジェクト かつ 重点 事業 プラン	JR町田駅前周辺デッキ下を対象とした実施設計を行います。	実施設計の作成	実施設計の完了	○	実施設計を行う業者が決定しました。	実施設計を完了します。	照明器具の選定や塗装塗り替えを含む、ペDESTリアンデッキの環境改善工事の実実施設計が完了しました。	実施設計の完了	C	工期内に実施設計が完了しました。	2019年度の本工事前に実証実験を行い、効果を確認します。
4	直営による点検方法と対象橋梁の検討	—	直営点検対象橋梁の選定と点検マニュアルの作成を行います。	直営点検対象橋梁一覧表と点検マニュアルの作成	作成完了	○	・直営点検の対象橋梁を選定しました。 ・マニュアルの作成にあたって、情報収集を行っています。	点検マニュアルの作成を完了します。	直営点検対象橋梁一覧表と点検マニュアルの作成が完了しました。	直営点検対象橋梁一覧表とマニュアルの作成の完了	C	対象橋梁の選定とマニュアルの作成が完了しました。	マニュアルの試行・検証を行い、より精度を高めます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認		年度末評価		
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
5	道路維持作業のPR実施	—	安心・安全・快適な道路施設の維持保全と環境負荷へ配慮した取組みを市民に知ってもらうため、道路維持作業のPRを行います。	PR活動の回数	2回	○	桜まつりでの出展PR及び「子どもセンターつるっこ」での出張PRを行いました。	健康づくりフェアに出展し、道路維持作業のPRを行います。	桜まつり、健康づくりフェア、「子供センターつるっこ」での出展・出張PRを行いました。	計3回のPR活動の実施	B	実施回数を計3回に増やしました。また、普段経験できない建設重機の試乗体験を行い、好評を得ました。多くの市民に興味を持ってもらい、道路維持作業の効果的なPR活動ができました。	成果を基に、より効果的、効率的なPR活動を目指します。
6	建設技能職員の技術の継承	—	土木・公園サービスセンターにて、技能講習を実施します。	技能講習会の実施回数	2回	○	研修計画の策定が完了しました。	建設技能職員を対象とした講習会を2回実施します。	先進技術を取り入れている民間企業から講師を招き、実技と講義による舗装補修と橋梁補修の講習会を実施しました。また倒木災害を想定したチェーンソーによる樹木伐採の技術研修を行いました。	計3回の技術講習会の実施	B	目標値を上回る3回、技術講習会を実施することができました。更に、民間企業による先進技術の講習会及び倒木災害を想定した実践的な実技演習を行い、職員の技能スキルが向上しました。	引続き実用性の高い講習会を開催していきます。